

パブリック・コメントの実施結果について

「墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画(案)中間のまとめ」について、広くご意見を募集しましたところ、貴重なご意見・ご提案をお寄せいただきました。

ご意見・ご提案をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、今回いただいたご意見等の要旨及びこれに対する区の考え方を公表します。

1 実施概要

公表資料

ア 概要版「墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画(案)中間のまとめ」

イ 計画本書「墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画(案)中間のまとめ」

意見募集期間

令和5年12月8日(金)から令和6年1月9日(火)まで

周知方法等

ア パブリック・コメントの周知

- ・ 区のお知らせ(高齢者福祉・介護保険特集号(令和5年12月8日発行))
- ・ 区ホームページ

イ 公表資料の閲覧場所

- ・ 区民情報コーナー(区役所1階)
- ・ 介護保険課及び高齢者福祉課窓口(区役所4階)
- ・ 区ホームページ

意見提出方法

文書を郵送、ファックス、電子メール又は持参により提出

提出先

介護保険課

募集の結果

意見提出者数 2人

意見総数 6件

2 提出された意見等の要旨及び区の考え方

	ご意見等の要旨	区の考え方
	老人ホームの運営支援について	
1	老人ホームの慢性的な人手不足により、事故が起こらないか心配である。 老人ホームに対してロボット掃除機を区からプレゼントしてはどうか。	ICT化や介護ロボットの活用により、業務効率化や業務負担の軽減を図ることで、職員の視野が広がり、事故につながる要因の発見、解消を行うことができ、事故防止に資するものと思います。 東京都において、令和5年度に掃除・配膳ロボットの導入支援事業が実施されており、今後の東京都の支援事業の動向を踏まえ、都と連携して、介護施設の人材不足に対する施策を検討、実施していきます。

	ご意見等の要旨	区の考え方
2	<p>ある老人ホームではおむつを新聞紙で包んで捨てているが、使用する新聞紙は家族が自宅から持参したり、近隣の方から寄付をいただいているらしい。そのようなちょっとしたことが老人ホームの助けとなる。</p> <p>また、先日、毛糸を寄付したところ、編み物の好きな方が使うということで喜ばれた。</p> <p>老人ホームの人手不足解消のために何ができるのか、老人ホームの要望を聞いて欲しい。</p>	<p>区では、地域包括ケアの視点から、介護施設は地域とのつながりを大切にしながら運営をすることが望ましいと考えています。</p> <p>地域に支えられながら施設を運営することは、施設の人材不足対策に有意義であると考えますので、ご紹介いただいた事例などを周知するとともに、より地域と連携した施設運営の観点から、施設の意見を聞き、支援を検討していきます。</p>
3	<p>老人ホームに区からまとめておむつを寄付できないか。現在、おむつの助成制度などもあるが、いちいち申請手続きなどが必要なのは家族にとって負担である。要は、おむつが必要な人に届けばそれで良いと思う。</p> <p>区から自動的におむつが届けば、老人ホームの職員の発注する手間など、職員の負担軽減になると思う。</p>	<p>区で実施している紙おむつ等支給事業では、テープ型、パンツ型、尿取りパッドなどの種類やサイズ、枚数などが組合せて選べる仕組みになっており、申請手続を区民の方から行うことによって利用者一人ひとりのニーズに応じた支給が可能となっています。</p> <p>このため、本事業の申請手続は事業の趣旨から必要であると考えますが、今回御意見いただいた内容は高齢者給付サービスの向上のため、今後の参考にさせていただきます。</p>
認知症サポーターの目標値について		
4	<p>計画本書 P86 (重点推進事業の活動指標において)認知症サポーター累計数は令和4年度の段階で既に28,000人以上の実績があるのに、令和6年度の目標が27,000人に下がるのは何故か。</p> <p>また、そもそも「累計」を目標とする必要があるのか。</p>	<p>令和6年度以降の目標値を算出する際に、令和5年度の目標値を基に設定を行っていたため、ご指摘いただいたとおり、実績を下回る矛盾が生じてしまいました。改めて、令和4年度の実績値を基に令和6年度以降の目標値を再設定いたします。</p> <p>また、活動指標の認知症サポーター数を「累計」にすることで、墨田区の人口に対する認知症サポーター数の割合の把握が容易になり、区内における認知症に関する知識の普及啓発の進捗状況を測ることができると考えているため、目標も「累計」としてしています。</p>

	ご意見等の要旨	区の考え方
給付実績と見込みについて		
5	<p>計画本書 P89-95</p> <p>各サービスの実績値が計画値と乖離した部分をどう捉えているのか。</p> <p>また、墨田区は今期の実績と次期計画が同じページに表記されていないため、同じページにした方が見やすいと思う。</p>	<p>各サービスの実績値と計画値の乖離につきましては、第8期計画期間がコロナ禍における影響を大きく受けた時期であるため、訪問系サービスの利用が増えた一方で、通所系のサービスの利用が計画を下回った結果であると分析しています。</p> <p>計画と実績の表記につきましては、前期計画期間における各サービスの計画値・実績値・計画比を並列して表記することにより、前期計画の進捗状況や乖離状況を容易に把握していただけるという考えで、この記載方法を採用しています。</p>
6	<p>計画本書 P89-95</p> <p>計画の「ふり返し」が無い場合、何故その数値と見込んだのかが分からない。計算式はよく分からないが、その見込みが精緻であればあるほど、介護の保険料も安く済むのではないかと思う。</p>	<p>次期計画期間中における介護サービス見込量及び介護給付費見込額は、都道府県・区市町村における介護保険事業(支援)計画等の策定・実行を総合的に支援するための国の情報システムである「地域包括ケア「見える化」システム」を用いて算出することとされています。</p> <p>このシステムでは、第8期計画期間中の各サービスの利用状況の推移や要支援・要介護認定者数の推移、介護給付費の実績等に基づき、第9期計画期間における介護給付費見込額等を算出しています。</p> <p>ご指摘のとおり介護給付費の見込みの精度を上げることが、適切な介護保険料の算出に繋がります。システムにより算出された見込額を基に、区の施設整備計画などを正確に反映させ、適切な介護保険料の設定に努めたいと考えています。</p>